

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	岐阜県中津川市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	中津川市文化遺産活用プラン	【計画の改善時期】 平成33年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>中津川市総合計画（平成27年～38年度）の第2章「基本構想」内の〔4. 基本構想の体系図〕の頁において中津川市の将来都市像に基づく項目として、「⑥歴史文化に魅力があるまち」と明言されている。また同計画書36頁では「歴史や文化、伝統芸能の魅力を発信し、住む人々の郷土愛を育むまち」かつ「その活動とともに、観光資源として有効活用します」とある。これらの内容を推進するために、下記の取りくみを実施する。実施計画期間において中津川市文化振興課は協議会の文化遺産の総合活用事業の取り組みに対して助言・指導・支援等を行う。</p> <p>（平成31年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中津川市文化遺産活用実行委員会設立 ・情報発信事業（情報発信映像、文化遺産情報発信用HP作成、祭礼を中心とした記録映像作成） <p>（平成32年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信事業（WEBでの情報発信、MAP制作、冊子制作等） ・普及啓発事業（文化遺産観光ルートの造成） ・人材育成事業（観光ルートガイドの育成） <p>また、平成31年度での要望調査にて地域からの要望があった場合、他助成金の状況と照らし合わせ、可能な限りの支援を行う。</p> <p>（平成33年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信事業（WEBでの情報発信、記録映像を活用した観光セールスや動画広告の活用、翌年度神坂スマートIC開通を見込んだ看板設置） ・普及啓発事業（文化遺産の観光モニターツアーの開催、外国人向け文化観光ルートの造成） ・人材育成事業（国内・国外の方に対応できる観光ルートガイドの育成） <p>また、平成32年度での要望調査にて地域からの要望があった場合、他助成金の状況と照らし合わせ、可能な限りの支援を行う。</p> <p>※また、事業期間内で各種制作物に多言語化の必要が見られる場合、対応するものとする。</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に関わる全体の企画調整や、各補助事業の指導等は以下の担当課がおこなう。 中津川市文化振興課 また補助事業は次の団体が実施する。 中津川市文化遺産活用推進実行委員会</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 2,201 千円	平成31年度申請額： 14,908 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>郷土文化の積極活用の取り組みによって、住民全体の文化遺産活用の関心や意識が向上し、保存継承といった取り組みの活発化が期待できる。 また、行政と民間団体で連携・協力体制をとって実行されることから、その成果物を中津川市が活用し、市が取り組む「歴史文化に魅力があるまち」の事業効果を期待できる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	中津川市役所 文化振興課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分1:	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標1:	木造十一面観音立像、大いちょう、阿木城跡等への来場者数	関連事業:	①～③			
目標値1:	【現状値】平成28年度 1,500人 ⇒ 【目標値】平成33年度 1,700人					
設定根拠1:	平成28年度までの平均伸び率2%に対し、2倍の4%を設定 市としては、地域の活性化を促すためにも、観光客数の増加により、地域文化の更なる発展に寄与すると考える。					
進捗状況1:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
1,570人	1,600人					
35%	50%					
目標区分2:	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分2:	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標2:	阿木地域内の文化団体会員数(阿木歴史教室、阿木城保存会、安岐太鼓保存会、大いちょう保存会、癒しの里阿木を愛する会等) 市としては地域固有の文化遺産を継承していくため、各地域の保存会等の会員数の増加は、地域の活性化のためにも必要と考える。	関連事業:	①～③			
目標値2:	【現状値】平成29年度 87人 ⇒ 【目標値】平成33年度 118人					
設定根拠2:	平成28年度までの平均伸び率3%に対し、3倍の9%を設定					
進捗状況2:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
87人	87人					
0%	0%					
目標区分3:	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分3:	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標3:	阿木地区内の小中学校及び高校で伝承文化集を用いた出前講座を行う。 市としては、各地域で伝承させたい生活文化等を未来を担う子どもたちに伝えることにより、文化の更なる発展継承に役立つと考える。	関連事業:	②			
目標値3:	【現状値】平成30年度 0回 ⇒ 【目標値】平成33年度 2回					
設定根拠3:	平成30年度までの開催件数0回を2倍の2回と設定					
進捗状況3:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
回	0回	2回				
	0%	100%				
目標区分4:	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分4:	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標4:	坂下の花馬祭観覧客数	関連事業:	④～⑦			
目標値4:	【現状値】平成30年度 7,000人 ⇒ 【目標値】平成33年度 7,000人					
設定根拠4:	現状維持を目指す					
進捗状況4:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
人	人	人	人	人	人	

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	文化遺産マップ等作成事業	実施団体：	癒しの里阿木を愛する会、阿木城跡保存会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度			
事業概要：	地域内文化遺産冊子の作成、地域内文化遺産マップの作成、文化遺産案内看板の設置により観光客、見学者等来場者の増加を図る。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	木造十一面観音立像、大いちょう、阿木城跡等への来場者数 市としては、地域の活性化を促すためにも、観光客数の増加により、地域文化の更なる発展に寄与すると考える。					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 1,500 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 1,700 人					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
1,570 人	1,600 人	人	人	人	人	
35%	50%					
事業②：	文化遺産の記録作成事業	実施団体：	阿木伝統文化継承事業実行委員会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 31 年度			
事業概要：	過疎化、少子高齢化に伴う人口減少を受け、文化を伝承する担い手不足の解消が喫緊の課題となっている。長い歴史の中で受け継がれてきた文化を今後も伝承していくため、阿木地域に伝わる伝承文化集として冊子を作成し、後世に伝える。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	阿木地区内の小中学校及び高校で伝承文化集を用いた出前講座を行い若者の地域文化に対する理解度を深める。市としては、各地域で伝承させたい生活文化等を未来を担う子どもたちに伝えることにより、文化の更なる発展継承に役立つと考える。					
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 2 回					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
回	0 回	回	回	回	回	
	0%					
事業③：	文化遺産の普及・啓発事業	実施団体：	阿木歴史教室、癒しの里阿木を愛する会、阿木伝統文化継承事業実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 31 年度			
事業概要：	・H30年度：文化遺産等の子ども達への普及啓発のため「いろはカルタ」の作成、大会の実施 ・H31年度：地域の文化遺産イベントの開催					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	阿木地域内の文化団体会員数：市としては地域固有の文化遺産を継承していくため、各地域の保存会等の会員数の増加は、地域の活性化のためにも必要と考える。					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 87 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 118 人					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
87 人	87 人	人	人	人	人	
0%	0%					

事業⑦：	みやさか地区文化遺産観光人材育成事業			実施団体：	みやさか活性化協議会	
事業区分：	人材育成			事業期間：	平成 32 年度 ~ 平成 33 年度	
事業概要：	文化遺産観光ルートのガイドを養成する。					
評価指標区分：	・ボランティアガイド育成講座修了者の後年度活動者数				(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	地域内の観光ガイド活動者					
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 8 人					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	